

住み開き事例1

ユニークな展示物で夢を与える 斬新なサロン

西淀川区の自宅向かいにある別宅を改造し、洞窟の成り立ちや内部の二次生成物等が一目で分かる「さわ洞窟ハウス」を自らの手で作り上げた沢敷さん。幼い頃から洞窟の神秘的な部分に魅力を感じ、大学の名誉教授として学内だけでなく学外でも社会貢献ができればとの思いからこの洞窟ハウスを作ったそう。

この洞窟ハウスはとにかく個性的。世界の洞窟写真や溶岩石サンプル、新聞記事等の展示の他、所狭しと並べられているのは沢さん自ら作り上げた溶岩や火山のメカニズム等を解説する模型。これはおもちゃやペットボトル等を利用して手作りしたとてもユニークなものばかりで、参加者との会話を織り交ぜた解説とともに披露され、参加者は目を輝かせながら興味深く話に聞き入ります。

イベントの参加は予約制。沢さんは「Webサイトを中心に情報公開をしているため、フィードバックがあり仲間やつながりが増えることにも楽しみがあります」と語ります。「多くの市民、とりわけ子どもたちの無限の夢と知的好奇心を掻き立てる場となり、大阪の新名所として広く愛されるサロンになっていくことを願ってやみません」と沢さんは夢を語り、今後もこの場をより面白いものにと更なる夢に向かっていきます。
<http://www.sawaisao.com/index.html>



すべて手づくりの模型で再現した洞窟内部を解説する沢さん